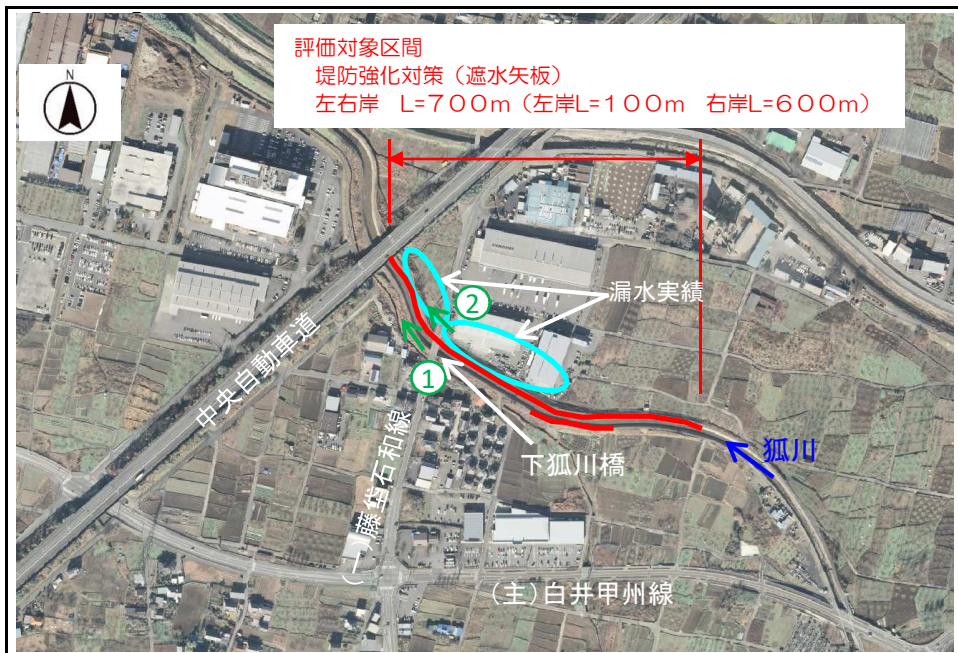


1. 事業説明シート

<b>事業名</b>	治水事業 [統一級河川整備事業 (国補)]	<b>事業箇所</b>	笛吹市境川町石橋外	<b>地区名</b>	狐川	<b>事業主体</b>	山梨県																																				
<b>(1) 事業の概要</b> ①課題・背景 一級河川狐川は、笛吹市南西部に位置し、笛吹川に注ぐ流域面積4.85km <sup>2</sup> 、流路延長6.3kmの一級河川である。 堤防安全照査の結果、下狐川橋上下流約600mの区間において、浸透に対して所定の安全率を満足できないことが判明した。 本河川の想定氾濫区域内には、多数の住宅や工業団地をはじめ、中央自動車道等の重要施設も含まれており、洪水により被災した場合には生活や経済活動に多大な影響を与えることから、早急に堤防強化対策を行う必要がある。 ②整備目標・効果 <input type="checkbox"/> 主要目標 <input checked="" type="checkbox"/> 洪水被害の防止 ・改修目標流量に対する現況流下能力の割合：1.0 > 0.4※以下 ・浸水被害又は水防活動の実績：有 ・想定氾濫区域内における災害発生時の影響：有 (重要な公共施設：中央自動車道) ※評価基準値 <input type="checkbox"/> 副次目標 — <input type="checkbox"/> 副次効果 <input checked="" type="checkbox"/> 被災時の被害波及の防止 (中央自動車道 (緊急輸送道路) の保全)				<b>(3) 事業の妥当性評価</b> <span style="float:right">妥当 妥当でない</span> ①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> 河川法第1条及び第9条により河川の洪水防止を義務づけられている。 ②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> 県が管理する一級河川である。 ③経済妥当性 <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>300 百万円</td> <td>工期</td> <td>R3~R9</td> <td>基準年</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>費用</td> <td>338 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="3">1,986 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>266 百万円</td> <td>一般資産被害防止額</td> <td colspan="3">664 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>72 百万円</td> <td>公共土木施設等被害防止額</td> <td colspan="3">1,125 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td colspan="3">197 百万円</td> </tr> <tr> <td>経済効率性</td> <td colspan="2">B/C</td> <td colspan="3">5.9</td> </tr> </table> ※その他は、間接被害防止便益 費用便益比 (B/C) は、1.0を超えており、経済効率性は確保されている。				総事業費	300 百万円	工期	R3~R9	基準年	R2	費用	338 百万円	便益	1,986 百万円			建設費	266 百万円	一般資産被害防止額	664 百万円			維持管理費	72 百万円	公共土木施設等被害防止額	1,125 百万円					その他※	197 百万円			経済効率性	B/C		5.9		
				総事業費	300 百万円	工期	R3~R9	基準年	R2																																		
費用	338 百万円	便益	1,986 百万円																																								
建設費	266 百万円	一般資産被害防止額	664 百万円																																								
維持管理費	72 百万円	公共土木施設等被害防止額	1,125 百万円																																								
		その他※	197 百万円																																								
経済効率性	B/C		5.9																																								
<b>(2) 整備内容</b> ①整備内容 堤防強化対策 L=700m ②着手年度 令和3年度 ③完成見込年度 令和9年度 ④総事業費 約300百万円 (国費150百万円(5/10)県費150百万円(5/10)) ⑤年度別の整備内容 (事業費) 令和3年度 詳細設計、地質調査 20 百万円 令和4~9年度 堤防強化対策 280 百万円 ※記載内容は見込みであり、確定したものではない。				④事業実施・規模の妥当性 <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> 堤防点検の結果から安全性が不足している区間を事業範囲として設定。 ⑤整備手法の有効性 <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> 新たな用地取得を伴わず、経済的にも最も優れた計画とした。 ⑥環境負荷等への配慮 <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> 覆土、寄せ石などを行い水際部の植生環境に配慮する。 ⑦事業計画の熟度 <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> 地元要望あり。 総合評価 <span style="float:right">[貢献度ランク：a]</span>																																							
⑥既整備内容・期間・事業費 なし				<b>(4) 事業位置図等</b> 																																							

## 2. 添付資料シート

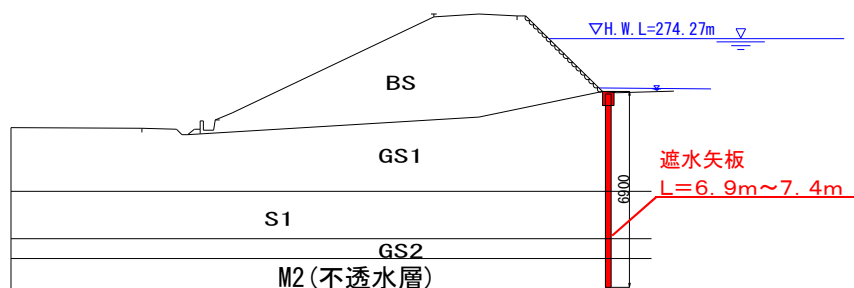


【写真①】

現況写真



【標準横断図】



【写真②】

漏水状況

